

# 中部農林 散 策

令和7年12月5日号

発信者 校長 新垣博之

## 創立記念第26回農業祭 取り組み状況についてご紹介

農業祭は以下の意義のもと、各学科を中心として実施いたします。

- 1 生徒の日頃の学習活動の成果を広く一般に公開発表する事により、成就感を体得させる。
- 2 生徒・職員・保護者・同窓の絆を深め、学校と地域との連携を図る。
- 3 中農の生徒として豊かな学校生活を創造する機会とする。

今回で26回目を数え、**地域と連携したイベント**として、毎回、多くのご来場がをいただいております。感謝！

農業祭まで、**あと9日** 今回は、農場の様子をご紹介します。



各学科の露地農場では、即売用として野菜の栽培が行われています。(右ブロッコリー 中レタス 右キャベツ)



チンゲンサイの株づくり



にんじん、カブ、ダイコンの栽培



ハウスでのゴーヤ栽培



栽培ベンチでは、即売用の草花や野菜の苗づくり行われています。



玉づくり菊の栽培



中農での環境整備は大事な実習！ 生徒・先生方できれいにしてお迎えします。

